

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

「好き」が、あふれる。『私のまち いなべ』推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

三重県いなべ市

3 地域再生計画の区域

三重県いなべ市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、2008年の46,893人をピークに減少しており、2024年には44,080人と減少が続いている。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本市の人口は今後も減少し、2040年には40,000人をきり、2045年には37,986人となる見込である。

年齢3区分別の人口動態をみると、1995年に年少人口(0～14歳)の割合17.1%に対し、老年人口(65歳以上)の割合が17.7%と初めて上回り、その後は年少人口減少、老年人口増加による少子高齢化が進んでいる。

自然動態をみると、1998年の出生者数が死亡者数を上回った自然増(48人)を最後に、2024年まで自然減(▲308人)が続き、減少の幅が増加している。

社会動態をみると、企業誘致の成果もあり最近10年で平均72.4人の増加となっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、市民の結婚、妊娠、出産、子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会増に努める。

- ・基本目標1 若者や女性に選ばれる魅力的な暮らしの創生

- ・基本目標 2 安心して快適な生活環境の創生
- ・基本目標 3 稼ぐ力を高め、付加価値を創出する新しい地方経済の創生
- ・基本目標 4 分野共通で取り組む新しい地方創生

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	15歳から49歳までの若者の年間純移動数	45人	89人	基本目標 1
イ	市民幸福度（一般市民）	6.60点	6.69点	基本目標 2
イ	市民幸福度（中学生）	7.62点	7.90点	基本目標 2
イ	市民幸福度（高校生）	6.94点	7.20点	基本目標 2
ウ	事業所数	1,233 事業所	1,350 事業所	基本目標 3
ウ	観光レクリエーション入込客数	590,699 人	597,000 人	基本目標 3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

「好き」が、あふれる。『私のまち いなべ』推進事業

- ア 若者や女性に選ばれる魅力的な暮らしの創生
- イ 安心して快適な生活環境の創生
- ウ 稼ぐ力を高め、付加価値を創出する新しい地方経済の創生

エ 分野共通で取り組む新しい地方創生

② 事業の内容

ア 若者や女性に選ばれる魅力的な暮らしの創生

社会変革・意識改革や、魅力ある働き方・職場づくり、子育て環境の充実等を推進し、若者や女性に選ばれるまちづくりに取り組む。

暮らしを取り巻く様々な分野で、意欲と能力のある「民」の力を活かした人を惹き付けるまちづくりに取り組む。

【具体的な事業】

- ・市民の力で拓く未来
- ・地域における子育て支援の充実
- ・ウェルビーイング溢れる学校の創造 等

イ 安心して快適な生活環境の創生

人口が減少しても、地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するため、将来を見据えた地域の拠点づくりや、交通・医療・福祉等の生活必需サービスの維持・確保を推進する。

官民連携の推進を通じて、災害から地方を守るための防災力の強化等を図る。

【具体的な事業】

- ・地域医療体制の充実
- ・元気みらい都市いなべの推進
- ・安全で安心な防災対策の推進 等

ウ 稼ぐ力を高め、付加価値を創出する新しい地方経済の創生

多様な食や伝統産業、自然環境、歴史、文化芸術等、本市のポテンシャルを最大限に生かすため、様々な「施策の新結合」を市内外で生み出し、地方経済に活力を創出する。

サービス産業の生産性向上を図り、地域資源やサービスの高付加価値化を推進する。地域外に高く販売することができるサービスを創出するとともに、拡大するインバウンドの需要を最大限取り込む等、稼ぐ力を高める。

市内外の様々な関係者の連携・協働、地域の若者や女性等の活躍促進に

加え、地域外の新たな人材を呼び込む「人材の新結合」や、A I ・デジタル技術等の新しい技術を組み合わせる「技術の新結合」に積極的に取り組む。

【具体的な事業】

- ・企業誘致による産業振興と雇用促進
- ・魅力ある観光地づくりの推進
- ・グリーンクリエイティブいなべの推進 等

エ 分野共通で取り組む新しい地方創生

多様な事業所、団体、学校関係機関等の地方移転等に取り組むとともに、関係人口の拡充、創出に向けた都市と地方の新たな結び付き、人材の交流・循環・結び付きを促進し、市内外で人材をシェアする取組を進め、新たな人の流れを創出する。

【具体的な事業】

- ・人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生
- ・新時代のインフラ整備とA I ・デジタルなどの新技術の徹底活用
- ・広域リージョン連携 等

※なお、詳細は第3期いなべ市総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度8月頃に外部有識者を含めた委員会による効果検証を行い、いなべ市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで